

奈良県立医科大学 推薦

平成 26 年 度

試 験 問 題 ①

学 科 試 験

(9時～12時)

【注 意】

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中をみてはならない。
2. 試験教科，試験科目，ページ，解答用紙および選択方法は下表のとおりである。

教 科	科 目	ペー ジ	解 答 用 紙 数	選 択 方 法
数 学	数 学	1～12	1 枚	数学，英語は必須解答とする。 理科は左の3科目のうちから1科目を選択せよ。
英 語	英 語	13～16	1 枚	
理 科	化 学	17～30	2 枚	
	生 物	31～32	4 枚	
	物 理	33～41	1 枚	

3. 監督者の指示に従って、選択しない理科科目を含む全解答用紙(9枚)に受験番号と選択科目(理科のみ)を記入せよ。
 - ① 受験番号欄に受験番号を記入せよ。
 - ② 理科は選択科目記入欄に選択する1科目を○印で示せ。

上記①，②の記入がないもの，および理科2科目または理科3科目選択した場合は答案全部を無効とする。
4. 解答はすべて解答用紙の対応する場所に記入せよ。
5. 問題冊子の余白を使って，計算等を行ってもよい。
6. 試験開始後，問題冊子の印刷不鮮明，ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気づいた場合は，手を挙げて監督者に知らせよ。
7. 解答用紙はいずれのページも切り離してはならない。
8. 解答用紙は持ち帰ってはならない。問題冊子は持ち帰ってよい。

数 学

設問ごとに、解答用紙の該当する枠内に解答のみを記入せよ。

【1】 8個の文字「奈, 良, 県, 立, 医, 科, 大, 学」を横1列に並べる.
このとき、「奈良医大」という連続した4文字が現れるように並べる方法は
何通りあるか.

【2】 $\cos 55^\circ + \cos 65^\circ + \cos 175^\circ$ の値を求めよ.

【3】 平面上に $\triangle ABC$ がある. この平面上で, 次の等式を満たす点 P の軌
跡を求めよ.

$$\overrightarrow{AP} \cdot \overrightarrow{BP} = \overrightarrow{AC} \cdot \overrightarrow{BC}$$

- 余 白 (計算用紙) -

【4】 $0 < \theta < \pi$, $\theta \neq \frac{\pi}{2}$ のとき, $\tan \theta - \frac{1}{\tan \theta} = \frac{1}{\sin \theta} - \frac{1}{\cos \theta}$ を満たす θ の値を求めよ.

【5】 次の値を求めよ.

$$\sum_{r=0}^{10} r^2 {}_{10}C_r$$

【6】 $\triangle ABC$ の頂点 A から辺 BC へ下ろした垂線の足 H が頂点 B と頂点 C の間にあつて $\frac{AB^2}{AC^2} = \frac{BH}{CH}$ であるとき, $\triangle ABC$ はどのような形であるか.

- 余 白 (計算用紙) -

【7】 $abc = n$ のとき,

$$\frac{3a}{ab+a+1} + \frac{3nb}{bc+nb+n} + \frac{3c}{ca+c+n}$$

の値を求めよ。ただし、 a, b, c はすべて正の実数とする。

【8】 x の関数 $f(x) = \left(\log_{10} \frac{x}{a}\right) \left(\log_{10} \frac{x}{b}\right)$ の最小値が $-\frac{1}{4}$ であるとき、 a, b の値を求めよ。ただし、 a, b は $ab = 100$, $a > b$ を満たす正の実数とする。

【9】 2次方程式 $x^2 - 3ax + 2a - 3 = 0$ が2つの相異なる整数解をもつ。このときの a の値を求めよ。

- 余 白 (計算用紙) -

【10】 次の2つの不等式を同時に満たす整数 x の個数が2個であるためには a はどんな範囲の値であればよいか.

$$(x+2)(3x-1)(x-4) > 0, (x-2)(x-a) \leq 0$$

【11】 a を10以下の正の整数とする. 数列 $\{a_n\}$ を

$$a_1 = a, \quad a_{n+1} = a\sqrt[4]{a_n} \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

で定める. このとき, 極限值 $\lim_{n \rightarrow \infty} a_n$ が存在して整数となるような a をすべて求めよ.

【12】 次の条件を満たす数列 $\{a_n\}$ の一般項を求めよ.

$$a_1 = 1, \quad a_{n+1} = 2a_n + n \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

- 余 白 (計算用紙) -

【13】 集合 X の要素の個数を $|X|$ で表す. 集合 U とその部分集合 A_1, A_2, A_3, A_4 についてその要素の個数が以下のように定まっているとする. $|U| = 300$, $1 \leq i \leq 4$ を満たす任意の自然数 i に対して $|A_i| = 64$ が成り立ち, $1 \leq i < j \leq 4$ を満たす任意の自然数 i, j に対して $|A_i \cap A_j| = 16$ が成り立ち, $1 \leq i < j < k \leq 4$ を満たす任意の自然数 i, j, k に対して $|A_i \cap A_j \cap A_k| = 4$ が成り立ち, $|A_1 \cap A_2 \cap A_3 \cap A_4| = 1$ が成り立つ. このとき, 集合 U の要素の中で A_1, A_2, A_3, A_4 のいずれの集合にも含まれていない要素の個数を求めよ.

【14】 直線 $l: y = \frac{4}{3}x - \frac{10}{3}$ と円 $C_1: x^2 + y^2 - 2x + 4y - 220 = 0$ がある. 中心が l 上にあつて, 円 C_1 に外接する半径 10 の円を C_2 とし, C_2 の方程式を求めよ.

【15】 楕円 $\frac{x^2}{4} + y^2 = 1$ 上の点で, 直線 $x + 2y - 4 = 0$ からの距離が最大となるような座標を求めよ.

- 余 白 (計算用紙) -

- 余 白 (計算用紙) -

- 余 白 (計算用紙) -